※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」（光村図書）						
副教材等	硬筆レッスン帳　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・漢字の書から、漢字仮名交じりの書、仮名の書等を体験し、自分らしい文字を書くことができるようになることをめざします。
・芸術としての書を、自身の表現として制作し、自分の気持ちや、他の人の気持ちを話し合い、表現する事の意味を考えます。
・作品を鑑賞することで、幅広い感性、鑑賞力を身に付けます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
（2）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
（3）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	漢字の書	・楷書及行書の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 ・楷書及び行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:古典の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関りについて、理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解し、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。 b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形などを工夫している。 c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント ワークシート	ワークシート 振り返りプリント
前期期末	篆刻の書	・姓名印を篆書体で制作する。 ・篆刻の完成までの手順と技法を習得し、白文印・朱文印を全体の構成を工夫しながら制作し、表現する。	a:用具・用材の正しい使い方を理解し、表現する技能を身に付けている。 b:篆刻の歴史を知り、鑑賞することにより、そのよさや美しさを感じ意図に基づいて、構想し、布字・運刀・補刀など表現を工夫している。 c:篆刻に関心を持ち、主体的に活動に取り組むとともに、書の多様性について理解を深めることができている。	作品	作品 プリント ワークシート	ワークシート 振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

後期中間	漢字かな交じりの書	・用具・用材などの特徴を理解し、筆の機能を体験的に学習する。 ・意図に基づき、漢字(楷書・行書)と仮名(平仮名・片仮名)の調和した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、作品制作する。	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関りについて理解している。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し、工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく表現、漢字かな交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント ワークシート	ワークシート 振り返りプリント
後期期末	仮名の書	・臨書を通じて、古典(平仮名・変体仮名・片仮名)の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:古典の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成等を生かした表現など、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。 b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形，墨継ぎ、全体の構成などを工夫している。 c:仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント ワークシート	ワークシート 振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度